

第41回 北榆会総会・懇親会開催のご案内

(北大工学部 電気・電子・情報・生体・精密・情工系、情報科学研究科 同窓会)

拝啓 初秋の候、同窓の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

北榆会総会・懇親会も世界的なパンデミックの影響を受け、第39回(令和2年度)、第40回(令和3年度)を書面開催としましたが、下記の通り、本年は3年ぶりにリアルな会場にて開催いたします。久しぶりに同窓生が一堂に会することで、最近の大学状況等を知る機会として、さらに、卒業年次や業種を越えた交流を深める機会として、皆様の多数のご出席をお待ちしております。

敬具

令和4年9月

北榆会会長 伊藤 明男

(電子1978年卒)

(株式会社日立国際電気)

記

■ 日時 令和4年11月18日(金) 18:30より

○総会・講演会 18:30～19:30

(1) 北榆会 会長挨拶 伊藤 明男 会長

(2) 北大・大学院情報科学院長／研究院長挨拶

長谷山 美紀 教授

講演題目:「問題解決から課題発見へ導く新学術の創造」

～DX人材を輩出する社会実装指向の情報科学研究拠点～

講演者:北海道大学情報科学研究院 長谷山 美紀 教授

○懇親会 19:30～21:00

■ 会場 ホテルリステル新宿

東京都新宿区新宿5-3-20 (TEL: 03-3350-0123)

東京メトロ丸ノ内線 新宿御苑1番出口から徒歩7分

<https://www.listel.co.jp/access/>

■ 会費 6,000円 (総会・講演会のみのお出席者は無料)

(70歳以上の会員・学部卒業後10年以内の方・女性は4,000円)

*18:00から受付を致します。

*北榆会総会・懇親会の最新の予定は下記URLから確認下さい。

<http://www.ist.hokudai.ac.jp/hokuyu-kai/>

<<<講演会の概要>>>

「問題解決から課題発見へ導く新学術の創造」

～DX 人材を輩出する社会実装指向の情報科学研究拠点～

長期的な視野でプロセス全体をデジタル化し、今までに得られなかった価値を創出するデジタルトランスフォーメーション（DX）が、世界で大きな変化を生み出しています。2004 年に提唱された DX が、十余年を経て現実のものとなったのは、通信インフラの強靱化と IoT の浸透、そして、深層学習の台頭により AI の社会実装が進んだことが大きな背景となっていると考えられます。奇しくも、新型コロナウイルス感染症の拡大で社会は変化し、「新たな日常」に向けて、世界で DX による変革が加速しています。このような大きな変革の時代を迎え、情報科学研究院では社会実装志向の先端研究拠点の形成に着手致しました。拠点形成により、問題解決から課題発見へ導く新学術の創造と、新しい社会の担い手となる高度専門人材の輩出を目指します。本講演では、その拠点形成の取り組みの背景と社会実装型の AI 研究の例をご紹介します。

参考情報 1：北榆会・北大情報科学系交流会のご案内

9/23(金) 13:30～ 於：北大情報科学研究院

内容詳細は上記北榆会 Web ページをご覧ください。

参加申し込みも北榆会 Web ページから実施できます。

参考情報 2：北海道大学ホームカミングデー2022のご案内

9/24(土) 北海道大学のホームカミングデーが開催される予定です

(<https://www.hokudai.ac.jp/home2022/>)。併せてご参加ください。

※行事によっては事前登録が必要です。Web ページで各自お申込みください。

北榆会は次の委員で運営しております。伊藤明男(電子 S55M)、長瀬博(電気 S48M)、松谷寛(電子 S52)、松尾望(電気 59M)、村上寛之(電子 61M)、滝内邦弘(情報 H7M)、足立直子(電気 H2)、石井宏辰(電気 H4D)、芹沢昌宏(電子 H2D)、渡邊健太郎(電子 H12M)、田邊康彦(電子情報 H13D)、松本久功(電子情報 H14M)、高儀雄太(電子 H15 年M)、山田将史(情報 H18M)、豊田啓貴(電子情報 H18M)、神田賢(情報 H8M)、田島正文(情科 H23D)、竹崎泰一(情報 H19D)